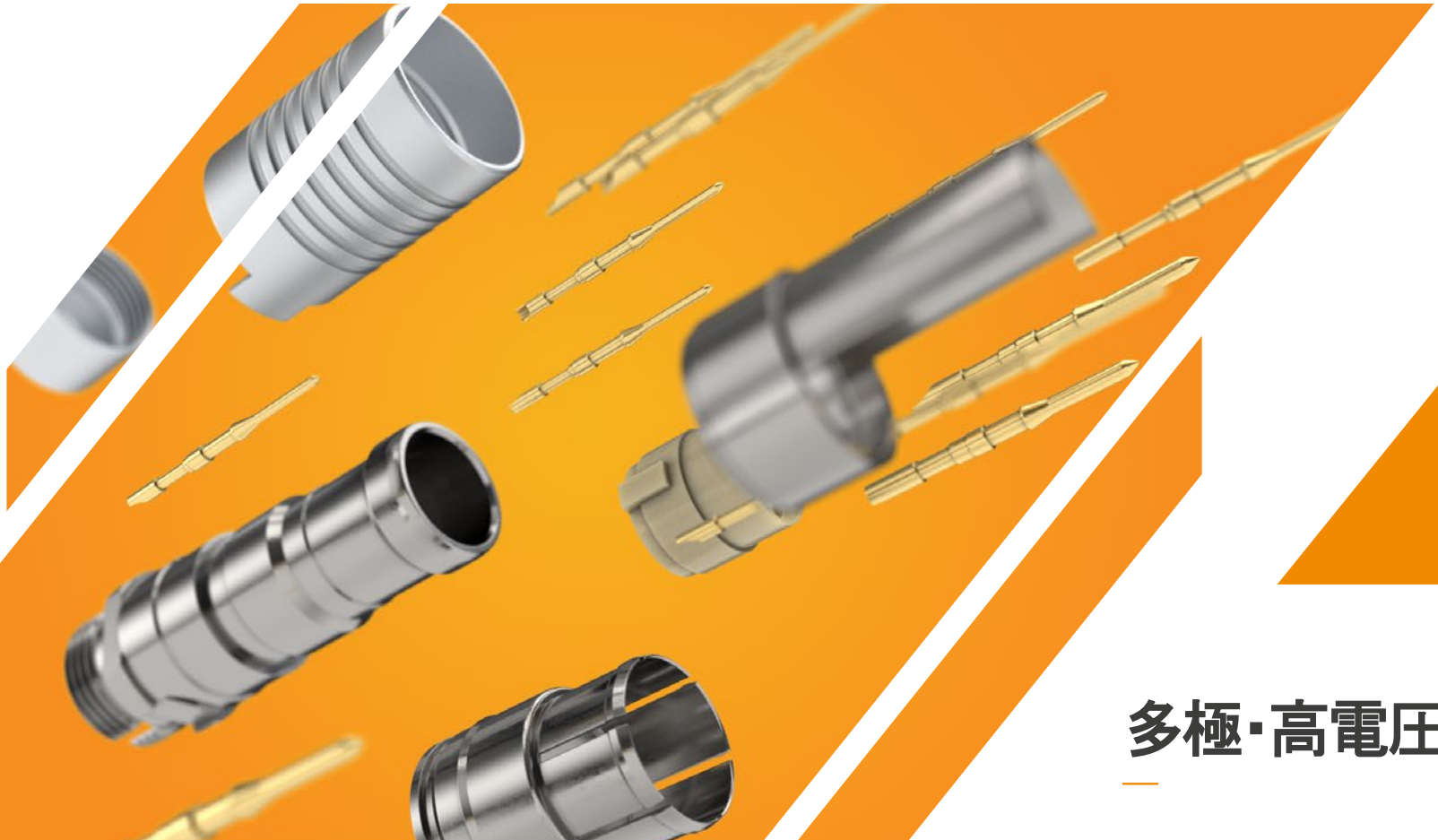




FISCHER CORE コネクタ

組立取扱説明書

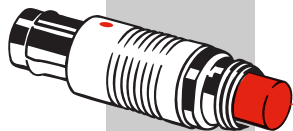


多極・高電圧

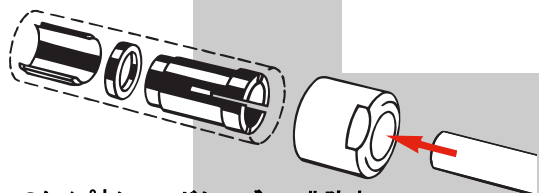
© Fischer Connectors SA – All rights reserved – Version 1.1 – 10.2023 – Changes without prior notice

標準的なケーブル加工手順

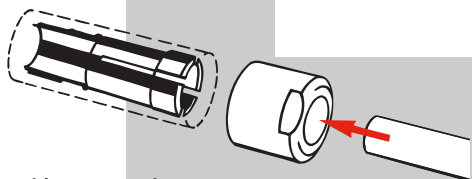
- 1 | 白色プラスチックがある場合、除去してください



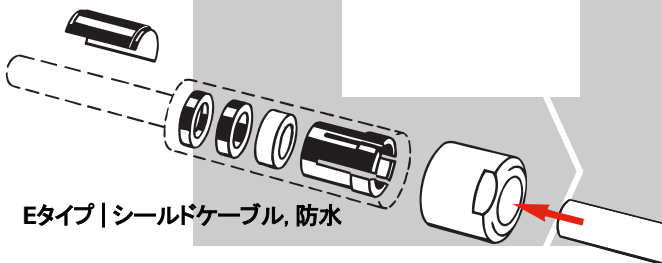
- 2 | ケーブルをクランプナットを通してケーブルクランプに挿入
(ケーブルクランプは透明ケースに格納されたままの状態)



Sタイプ | シールドケーブル、非防水



UIタイプ | 絶縁タイプ、非防水



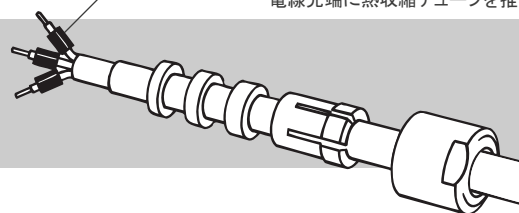
Eタイプ | シールドケーブル、防水

はんだ取付

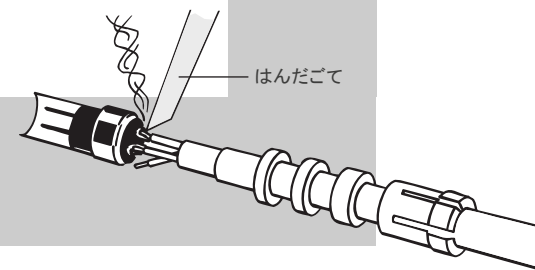
- 3' | ケーブル被覆を剥離*

- 4' | より線ははんだ付け処理を推奨

電線間のショート防止のため
電線先端に熱収縮チューブを推奨



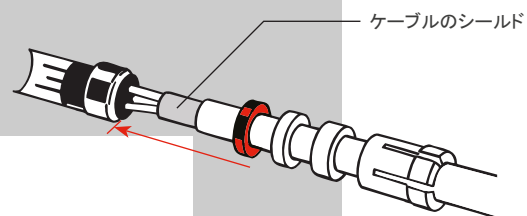
- 5' | 電線とコンタクトはんだ付けし、
熱収縮チューブではんだ接続部を
覆うようにかぶせて収縮させる



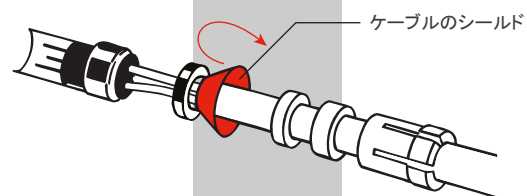
*コンタクト型名ごとにケーブル被覆の加工推奨寸法、適合する圧着用工具、クランプナットの推奨トルク値について、本書に記載しておりますので参照ください

標準的なケーブル加工手順

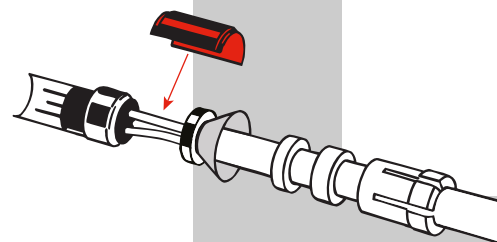
6 | リングをコネクタの方向へスライド



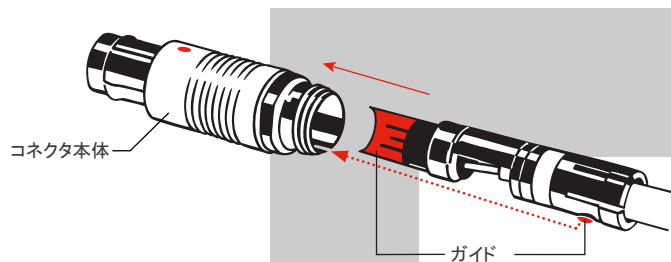
7 | シールドをケーブル後方へ折り曲げる



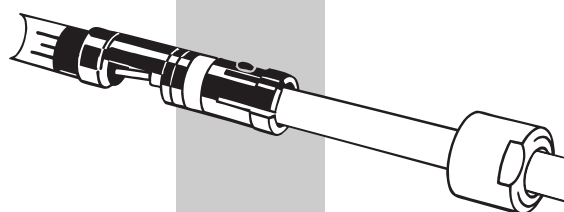
8 | 半円筒型スリーブをリングと方向を合わせて固定



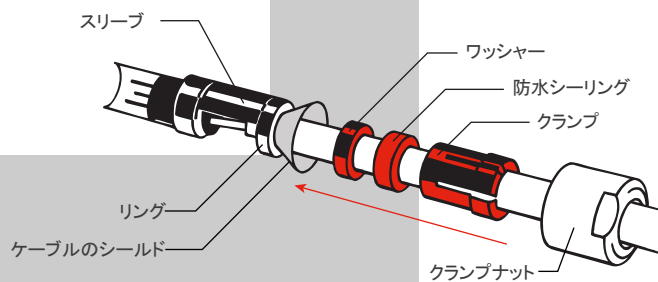
11 | P組み立てたケーブルをガイド方向を合わせてコネクタ本体に差し入れる。



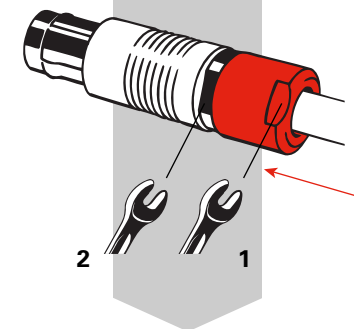
10 | シールドの余分な先端部分をカット



9 | ワッシャー、防水シーリング、クランプをリングの方向へスライドさせ、シールドをリングとワッシャーの間に挟み込む


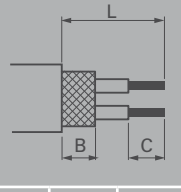


12 | クランプナットをレンチで締め付けてコネクタ本体に取り付ける*



ケーブル加工の完成

*コンタクト型名ごとにケーブル被覆の加工推奨寸法、適合する圧着用工具、クランプナットの推奨トルク値について、本書に記載しておりますので参照ください

コンタクト型名	コンタクト取付					ケーブルクランプ のタイプ ¹⁾	種数				ハンドクリンプ 型名	専用ポジショナー 型名	コンタクト挿入工具 型名	コンタクト引抜工具 型名	レンチサイズ 1 ³⁾	レンチサイズ 2 ²⁾³⁾	トルク [Nm]
		極性 "A"		極性 "Z"				L	B	C							
		プラグ	レセプタクル	プラグ	レセプタクル												
104 A Z 062	はんだ					S	4	15	2.5	2				12	13	2.0	
						UI	4	10	-	2				12	13	2.0	
105 A 057	はんだ					S	3	10	4	3				15	16	3.5	
						UI	3	14	-	3				15	16	3.5	
						E	3	10	4	3				15	16	3.5	
105 A Z 039	はんだ					S	5	24	2.5	3				15	16	3.5	
						UI	5	24	-	3				15	16	3.5	
						E	5	20	2.5	3				15	16	3.5	
106 A Z 013	はんだ					S	6	16	5	3				22		8	
						UI	6	16	-	3				22		8	
107 A 034	はんだ					S	7	43	5	4				32	32	10	
						UI	7	35	-	4	(S+SE 107 A034)	TP00.000		32	32	10	
						E	7	38	3	4				32	32	10	

¹⁾ Sタイプ | シールドケーブル対応、非防水
 UIタイプ | 絶縁タイプ、シールドケーブル非対応、非防水
 Eタイプ | シールドケーブル対応、防水

²⁾ 本体スタイル「DK 104」を除く：レンチサイズ = 12
 本体スタイル「DK 105」を除く：レンチサイズ = 14
 本体スタイル「DK/DKE/DKBE 107」を除く：レンチサイズ = 30

³⁾ 本体スタイル「K/KE/DK/DKE/DKBE 107」を除く：レンチサイズ = 25

本頁に記載するワイヤ先端寸法は代表値で、ケーブルの構成やその寸法により、最適に調整する必要があります
 トルク[Nm]は、推奨値でケーブルの外部被膜の特性に依存します
 お客様のアプリケーションにおけるワイヤ先端寸法は、試作を通じて決定してください
 クランプナットは取り付け後に、ねじ緩め止め剤の使用を推奨します

すべての寸法記載は、参照用途として示しており、単位は[mm]です